

7月の第4日曜日は 親子の日

決定！2009親子大賞

三國連太郎さん 佐藤浩市さんに



親子の日普及推進委員会では、今年もホットなニュースを提供してくれた親子を選ぶ「親子大賞」を実施した。投票は携帯電話とインターネットを通じて行われ、216の投票を得た、三國連太郎さん・佐藤浩市さん親子に決定した(投票総数1137票)。

親子の日2009
主催 親子の日普及推進委員会
特別協賛 オリンパス
協賛 トリニティライン
特別協力 毎日新聞社
協力 オリンパスイメージング エプソン販売 ぐるなび photomemo

ブルース・オズボーン写真展

～2009年「親子の日」に出会った親子～

「親子の日」(今年は7月26日)当日に、ブルース・オズボーンさんが100組の親子を撮影した「スーパーフォトセッション2009」のその撮影会で出会った「親」と「子」のきずなを、温かい視点でとらえた100点



の写真の展覧会が開催された。被写体になった親子や家族はもちろん、初日から多くの人々が来場した。会場には、4月から毎日新聞で連載されている「親子インタビュー」の紙面も展示され、来場者は100点の親子写真とともに、ユニークな親子のそれぞれのストーリーに見入った。

ブルース・オズボーン写真展は、現在オリンパスギャラリー大阪で開催中。9月30日(水)まで。問い合わせはオリンパスギャラリー事務局(03・3292・1934)。

親子の日
写真家ブルース・オズボーン氏の呼びかけで03年にスタート。7月第4日曜日を「親子の日」と定め、「親と子」の関係を見つめながら、家族、地域、社会の平和を願うきっかけづくりを提案している。
<http://www.oyako.org/>



撮影 ブルース・オズボーン

中西康夫(親) × 中西哲生(子)

「親子インタビュー」

男同士、面と向かっては話づらい。でも手紙なら思いを伝えることができる。親子の人生の道しるべとなったのは、父からの手紙だった。親子インタビュー6回目は、アカデミスム一筋の父親と、プロサッカー選手からスポーツジャーナリストの道歩んだ息子のきずなに迫る。

「今まで金も時間もかけて、サッカーをやらせてきた。親としても夢を見てきた。現実的な(就職の)話になると寂しい気持ちになった」
哲生さんは京都に住んでいた大学2年の時、大阪の父康夫から手紙を受け取った。哲生さんは小学3年生でサッカーを始め、高校までは「自分が一番」と思っていた。だが全

「国から選手が集まる大学のサッカー部で、上には上がいる現実を目の当たりにした。『自分はプロの世界では通用しない。大学を出たら就職しよう』。母香代子さんに相談し、それを伝え、父康夫さんに書いたのが、冒頭の手紙だった。哲生さんは「あの手紙で自分の人生を軌道修正することになった」と振り返る。書いた康夫

人生の道しるべになった おやじの手紙

「手紙」の原点は哲生さんの小学校時代にさかのぼる。哲生さんのサッカーの試合を観戦している時もメモをとる康夫さんがいた。書いていたのは「サッカーノート」だ。哲生さんは試合が終わって帰宅すると、父から「読んでおけ」とノートを渡された。開くとその日のプレーの課題などが書かれていた。

「父からはサッカーの経験はないが、元高校球児でスポーツには精通している。『分からない専門用語もあるが、スポーツに共通する人の動きの基本は変わらない』と康夫さん。『書いてあることはすべて論理的。嫌になるほど当たっていた』と哲生さんは苦笑する。

「父からはサッカーの経験はないが、元高校球児でスポーツには精通している。『分からない専門用語もあるが、スポーツに共通する人の動きの基本は変わらない』と康夫さん。『書いてあることはすべて論理的。嫌になるほど当たっていた』と哲生さんは苦笑する。

「父からはサッカーの経験はないが、元高校球児でスポーツには精通している。『分からない専門用語もあるが、スポーツに共通する人の動きの基本は変わらない』と康夫さん。『書いてあることはすべて論理的。嫌になるほど当たっていた』と哲生さんは苦笑する。

「父からはサッカーの経験はないが、元高校球児でスポーツには精通している。『分からない専門用語もあるが、スポーツに共通する人の動きの基本は変わらない』と康夫さん。『書いてあることはすべて論理的。嫌になるほど当たっていた』と哲生さんは苦笑する。

「父からはサッカーの経験はないが、元高校球児でスポーツには精通している。『分からない専門用語もあるが、スポーツに共通する人の動きの基本は変わらない』と康夫さん。『書いてあることはすべて論理的。嫌になるほど当たっていた』と哲生さんは苦笑する。

なかにし・やすお 1969年韓国・仁川生まれ。名古屋大学理学部化学科卒。大阪大学大学院理学研究科教授(発生生物学専攻)。03年に退官(現名誉教授)。趣味はマラソンで、05年のホルルマラソンは3時間15分で完走した。

哲生さんはワールドカップで日本代表が優勝する日を夢見ていた。「そのために自分には何が出来るのか」。そう語る哲生さんを前に、康夫さんが「やっぱりぼくはこの男に負けたくない」と笑う。康夫さんは趣味のマラソンのため、今も体を鍛えている。古希を迎えた父と、不惑を迎えた息子。男同士はいつになっても、良きライバルでもある。

【中西拓司】

翌日、鏡をみるのがきっと楽しみにになる。

フジフィルムがつくった化粧品、その違いをまずは“新”トライアルキットで実感してください。

二人の感動を
ぜひあなたの
肌で

次はあなたがお試ください。

写真フィルムの主原料はコラーゲン。「アスタリフト」にはフジフィルムがもつ、コラーゲンのノウハウがいっぱい。さらに、独自の最新技術で優れた浸透力も。お手入れのたびに、お肌にうれしい感触が満ちてきます。

ハリ 潤い さらに シミ に着目した新トライアルキット!

1,000円

送料無料で(税込)

ASTALIFT

「ホワイトニングエッセンス」が加わって、「アスタリフト」シリーズ、さらにパワーアップ!

新トライアルキット

さらに
タイプロテクター
をプラス!

ご注文は今すぐ。お電話 0120-862-100 FAX 0120-796-221
通信販売でお気軽に! 受付時間 9:00~19:00 (年末年始を除く) ※携帯電話・PHSからもご利用いただけます。お申し込み番号 4357
<http://www.ffhc.jp> アスタリフト 検索